

SEKIO Association
of Dentists

歯科医師石櫻会会報

第 3 号

発行 ■ 歯科医師石櫻会事務局 〒020-0837 盛岡市津志田町 2-1-70 くまがい歯科クリニック内 TEL / FAX : 019-632-1188 題字: 横澤昭平



組織におけるナンバー 2

歯科医師石櫻会
会長 山田 康平

掲載内容

- ・ 巻頭言
- ・ 平成 22 年度総会報告
- ・ 平成 22 年度講演会報告
講演 1 (新 26 回生)
徳富 亘 先生
講演 2 (友愛病院歯科科長)
塩山 司 先生
- ・ 石櫻トピックス
- ・ 役員名簿
- ・ 幹事会記録
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 編集後記



平成 21 年 6 月、歯科医師石櫻会の会長に就任し一年半が過ぎました。この間、今年 6 月に会の一大事業である総会、徳富亘先生(新 26 回)、塩山司先生のお二人を講師に迎えての講演会、その後の懇親会を無事終えることができました。歴代の会長、執行部のご苦労を今更のように感じ、ただただ感謝である。残り数か月、皆様のご協力をお願いいたします。

いくつかの団体、組織の会長を経験している。今回もそうであるがどうも居心地が悪いのです。私は会長の器ではないのであろう。十数年前、会長 No1 とそれを支える No 2 について考えたことがあったので、そのとき読んだ本などを思い出しながら書いてみたい。組織が充実し、大きくなってゆくには No 2 の存在とその役割が重要である。学術、会計、庶務、名簿、広報など部門の長としての No 2、またトップに策を授け、知恵、情報を授ける参謀としての No 2、組織の中を運用してゆくのに、こまごまとしたことをトップと一体となってゆく補佐役としての No 2、この三つの No 2 がうまく運用し、活躍出来る時組織は大きくなってゆくのであろう。No 2 は自分の功績を一切言わない、自分を顕示しない、功を争っては足の引っ張り合いとなり No 2 にはならないのである。その代わりあの人の言うことは聞かざるをえない、常に中立の立場にあり裁定者としての登場が出来る。そういう状態を保つことが No 2 には必要である。自分の名を隠すことにより喜びを感じ満足感がある。それでいて No 1 を望まない。しかし、現在の No 2 は次期 No 1 として次の後継者が No 2 と思われる。

一方、No 1 はビジョン、理想を持ちきらびやかに方向を示さなければならぬ。理念だけでは No 1 になり得ない。No 2 はトップの示した理念に惚れ込み実現すること、この男を立派にすることが自分の喜びであるのが望ましい。トップの欠点を補い自分はその実現の一部であったという匿名の情熱のもてる人物が真の No 2 の資質であると思う。No 1 も No 2 もともに能力が必要であるがそれなりの能力のある人は皆 No 1 を目指す。No 1 はその時代時代にできる No 2 の得難い才能、その出現は少ない。一昔前、そんなことを考えたりしていた。

我々歯科医師石櫻会には、得難い、優秀な補佐役、参謀役の No 2、きらびやかな No 1 候補も数多くおられ、将来も安泰であると確信する。

やはり私は No 1 の器ではないか…。

前会長横澤昭平先生は歯科医師石櫻会の会員名簿の整備作成をされました。今年度はこの会の歩み、歴史をまとめ、残したい。その道筋をつくり次期執行部に実務を託したいと考えている。重ねて会員各位のご協力をお願いいたします。

平成22年度総会報告



平成22年6月19日(土)ホテル・ニューカーリーナ2階において、23名の会員出席のもと平成22年度歯科医師石櫻会総会が開催された。上原豊幹事が司会を担当し、田中健一副会長の開会の辞で閉会した。山田康平会長の挨拶の後、村田昌明会員が議長を務め、総会の議事が進行した。中野廣一幹事長より平成22年度の会務報告が、村上修会計幹事より会計報告がなされ、伊保内利一監事より会務・会計内容が適切である旨の報告があった。つづいて平成22年度事業計画等について審議され原案通り可決承認された。会員慶弔規定が協議され次年度の総会で審議されることとなった。総会は小山田榮二副会長の閉会の辞で閉会した。



講演 1

「ヨコタデンチャーを見直して」

徳富 恒先生(新26回生)
花巻市開業

日々薄れ行く記憶の片隅から学生時代を思い起こせば、河邊清治先生の総義歯が基本だった様に思う。当時モデリングコンパウンドと格闘し、悪臭としか思えないチオコールラバーに苦戦して、やっとの想いで作り上げた総義歯なのに、大き過ぎかて邪魔で痛くて、噛めない、食べられない、話せない、笑えないと訴えられ、丹精込めて盛り付け磨いた口蓋すうへきの舌触りが悪いか、リアリティを追求して掘り込んだ弧形空隙に食渣が溜まって掃除しにくいとかネガティブな感想を浴びせかけられ、再三調整してみた挙句、少々不満はあるが、使いなれた旧義歯の方が良いと言われてしまったほろ苦い記憶が蘇る。

そんな学生時代の最後に出会ったのが、阿部晴彦先生の「総義歯に強くなる本」である。この本が示してくれた一筋の光明が総義歯に対する私の意欲を辛うじて繋ぎ止める事になり、そしてファイトを湧かせてくれた。そして総義歯はその善し悪しについて患者さんが直ぐわかる仕事だからこそ面白いことに気が付くこともできた。

薬理の大学院が終わったら阿部晴彦先生のところで弟子入りしたいとか、自分の歯を全部抜いて自分の口を使って総義歯作製法を極めたいとか、そんな話を父にした事がある。

ひとりの師匠に属するとそこに固執しなければならず、他の優れた方法を受け入れにくくなる事や、自分を練習台にして例え自分にピッタリ合う総義歯が作れたとして

も、世の中の多くの人の口腔内条件は千差万別だから、自分以外の人の総義歯がうまく作れるとは限らない。そういうことよりも高名な先生のお客さんになって、講習会を受ける方が良い。お客さんになれば、どの先生も丁寧に接してくれる、という理由だったと記憶しているが、この事は正に真実で今の私流を築いてくる上で大変役立ったアドバイスであり大変感謝している。

多くの先生の講演を受講したが最初は村岡博先生だった。痛快極まりない語り口から繰り出されるリングライズドオクルージョンと、コンフォートというTissueConditionerを使用し、旧義歯利用のテンタティブデンチャーの使い方に総義歯の醍醐味を感じさせていただいた。

村岡博先生のお弟子さんである小嶋寿先生の講習も楽しかった。即重レジンに蛇の様に練り上げて歯列を作り、カーバイドバーで歯の形を彫り込んでいく実習をKaVoEWLの研修室で行ったが、それがご縁でKaVoの技工機を2台導入した。

また村岡博先生のご子息である村岡英明先生のコピーデンチャーを応用した総義歯製作法も何回も受講した。

そして一番受講回数が多いのが横田亮先生考案のヨコタデンチャーである。旧義歯には一切触らずに、最初からより理想的な義歯の形を求めて診断義歯を作製し、義歯粘膜治療を施していく。その際上下の診断義歯をワンプロックとしてイメージすると調性が行いやすい。人工歯は上下の診断義歯をガッチリ噛み合わせる歯車と割り切り、基本的に咬合調性は行わないで義歯粘膜治療を進めて行くのだが、今回はそのところを強調させていただいた。またイボカップの誤差について説明し、解決法もお示しした。(講師自抄)





講演 2
「歯科材料の生体安全性」
 — 歯科用金属によるアレルギー —
塩山 司先生
 岩手医大第2補綴前准教授 / 友愛病院歯科医長



一般社会でも金属アレルギーに対する認知が向上し、それと共に歯科用合金の含有元素の表示が義務化され、メタルフリーによる修復も注目されるなど治療環境も少しずつ変化している。臨床症状は、接触性皮膚炎、掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、扁平苔癬、舌炎口内炎などが挙げられる。歯科用材料を扱う私たちは、歯科材料を安全に使用するために、アレルギー問診を十分に行う必要がある。また口腔内の粘膜病変、口腔内から遠隔に出た湿疹を見逃さないことが大切である。しかしこれらの疾患の原因は金属アレルギーのみでない原因が存在することもあり、アレルギー金属を除去するだけでは完治しない場合もある。

未だ金属アレルギーのメカニズムや前述疾患との詳細な関連性は不明というのが現状である。最近の発表では何らかのアレルギー症状の発症部位が口腔領域であった患者は約30%であった。専門医において口腔扁平苔癬と診断がついた患者は5%、そのうち何らかのアレルギー陽性反応が見られた患者は50%を超える割合だったという報告からしても、詳細な診断のもとに、診察してゆかなければならない。口腔扁平苔癬の原因は不明とされており、細菌やウィルスによる感染、C型肝炎、薬物、金属アレルギーなどが考えられていることも理解しておかなければならない。(講師自抄)

平成22年度 歯科医師石櫻会 総会・講演会・懇親会 参加者のご紹介(敬称略)



後列左から：岡村 悟、村上 修、小山田榮二、上原 豊、中野廣一、久保田文彦、田中 俊、波紫修一
 中列左から：熊谷哲也、関 克典、米内 正、池田 健、柳澤 泰、八重樫良昌、小松世潮、村田昌明
 前列左から：田中健一、伊保内利一、塩山 司先生、山田康平、村井伸吾校長、徳富 亘、横澤昭平、桂 啓文

石櫻トピックス



「朝光」

横澤昭平先生(新12回生:本会顧問)が、昨年(2010年)「朝光」で日本歯科新聞フォトコンテストで最優秀賞を受賞され、今年も「むすぶ思い」で最優秀賞を受賞。歯科写真界の歴史に残る、2年連続の最優秀賞を受賞となりました。今年のMORITA社のカレンダー6月の写真「緑滴る」も先生の作品です。石櫻同窓生として誇れる先生の快挙を心からお祝い申し上げます。(中野廣一 記)



「むすぶ思い」

役員名簿

(任期：平成21年4月1日 - 平成23年3月31日)

- | | |
|-----|--------------------|
| 会 長 | 山田康平 |
| 副会長 | 田中健一, 小山田榮二, 小豆嶋正典 |
| 幹事長 | 中野廣一 |
| 幹 事 | |
| 学 術 | 柳澤 泰, 上原 豊 |
| 会 計 | 村上 修, 赤坂俊彦 |
| 庶 務 | 熊谷哲也, 内田良夫 |
| 名簿 | 亀田幸宏, 波紫修一 |
| 広報 | 関 克典, 久保田文彦 |
| 地区 | 道又 元, 村田昌明, 佐々木正博 |
| 学内 | 大久保卓也(学術と兼務) |
| 顧 問 | 岡田宗二, 横澤昭平 |
| 監 事 | 桂 啓文, 伊保内利一 (敬称略) |

幹事会記録 (抜粋)

平成22年度第1回幹事会

日時:平成22年6月10日(木) [於:ホテルカーナ「花梨」]
出席者:山田康平会長、田中健一、小山田榮二副会長、中野廣一幹事長、村上修、赤坂俊彦、柳澤泰、関克典、亀田幸宏、久保田文彦、熊谷哲也、波紫修一の各幹事、桂啓文監事、横澤昭平顧問(敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告:平成22年2月28日幹事会▼6月19日総会、講演会▼波紫幹事から歯科医師石桜会名簿充実のため、今後、毎年度歯学部進学者の卒業時に連絡先等の情報を提供してもらえよう岩手高校に依頼。4月:総会、講演会の案内、会費自動振込み用紙、歯科医師石桜会会報第2号の発送、5月:総会、講演会の2回目の案内発送。

(2) 村上会計担当幹事より平成21年度の会計報告:

<収入> 収入合計 459,144円(内訳:当日会費 7,000 × 27=189,000、当日年会費 5,000 × 16=80,000、振替入金 5,000 × 27=135,000、振込入金 5,000 × 9=45,000、雑収入 10,000、利息 144)

<支出> 支出合計 372,897円(内訳:総会費 217,000、講師謝礼 70,000、車代 5,000、資料作成費等 64,854、発送費 9,365、印鑑代 1,575、銀行引去手数料 5,103)

<収支> 459,144円 - 372,897円 = 86,247円

2) 審議事項

(1) 会場について

・ニューカーナにて例年同様に総会、講演会、懇親会を行う。

(2) 講演会について

・塩山 司先生(世話役:柳澤泰先生)と徳富 亘先生。

・案内の発送を2回行う:4月上旬、5月下旬に発送済み。

(3) 来年度の講演会の講師について

・寺田林太郎先生(平鹿病院歯科)と田中健一先生(新20回生)

(4) 講演会、懇親会参加費について

・参加費は昨年同様7,000円に決定した。(文責:熊谷哲也)

平成22年度第2回幹事会

日時:平成23年2月16日(水) [於:ホテルカーナ「花梨」]
出席者:山田康平会長、田中健一、小山田榮二の両副会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、柳澤泰、関克典、亀田幸宏、久保田文彦、熊谷哲也、大久保卓也、波紫修一、幹事、桂啓文監事、横澤昭平顧問(敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告:平成22年6月10日幹事会▼6月19日総会、講演会、懇親会(23名参加)▼6月30日:成田功先生(新33)ご尊父様ご逝去:会から弔電。平成23年1月16日:村上修先生(新23)病氣療養:会から見舞金。2月12日:徳富亘先生(新26)病氣療養:会から見舞金。

(2) 赤坂会計担当幹事より平成22年度の会計中間報告:

<収入> 収入合計 423,053円(内訳:当日会費 6,000 × 23=138,000、当日年会費 5,000 × 11=55,000、振替入金 5,000 × 27=135,000、振込入金 5,000 × 17=85,000、雑収入 10,000、利息 53)

<支出> 支出合計 357,207円(内訳:総会費 207,480、講師謝礼 70,000、車代 10,000、総会資料 21,855、会報等印刷費 25,000、慶弔費 13,538、自動振替手数料 8,914、振込手数料 420)

<収支> 423,053円 - 357,207円 = 65,846円

(3) 波紫名簿担当幹事より、会員名簿の充実のためには母校および岩手医大からの情報収集が不可欠であることが示された。

(4) 山田会長から石桜同窓会本部理事会の報告があった。

2) 審議事項

(1) 会長、監事の選出選挙に関する件

・4月初旬に立候補を募る文書を送付する(締切日:4月末日)。

(2) 平成23年度総会・講演会・懇親会に関する件

・6月19日(土)夜6時から、ホテルニューカーナにて開催。

・講師は田中健一先生(新20回生)と寺田林太郎先生(平鹿病院歯科)

(3) 平成24年度講演会講師に関する件

・大久保卓也先生(新41回生)と近藤尚知先生(岩手医大インプラント科)

(4) 平成24年度講演会講師に関する件

・柳澤泰先生(新31回生)と外部講師

(3) 会則改正および会員慶弔規定に関する件

・役員任期に関するの附則の追加と、任期に関するの附則の一部削除案が審議され、総会に諮ることになった。

・慶弔規定に関しては昨年からの持越し案件であり修正案が示されたが合意に至らず、次回幹事会で再度審議することとなった。

(文責:熊谷哲也)

事務局からのお知らせ

■ 会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記口座へ5,000円のお振込みをお願いいたします。銀行口座からの自動振替制度のご利用が便利です。事務業務も大変簡素化され助かりますので、お手続きを宜しくお願いいたします。

■ 「銀行振込み口座」

東北銀行 大通り支店

(普通) 3162801 歯科医師石桜会 会計 村上修

■ 「口座振替依頼書」のお手続きの問合せ・送付先

〒020-0016 盛岡市那須川町29-2 赤坂病院歯科

歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦 宛

TEL: 019-624-1225 FAX: 019-623-1825

■ みなさまの声をお寄せ下さい

本会についてのご意見・ご要望、会員名簿のご訂正や名簿に掲載されていない岩手中・高卒の歯科医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら事務局までお知らせ下さい。

歯科医師石桜会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70

くまがい歯科クリニック内

TEL / FAX: 019-632-1188

E-mail: tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

編集後記

最近の我が母校、岩手中学高校のテニス部、囲碁・将棋部の快進撃が止まらない。昨年5月からの成績だけみても、5月囲碁部県大会優勝、6月テニス部県高総体団体優勝および個人優勝、6月テニス部東北高総体ダブルス優勝、7月岩手中学3年の村松光君(六段)が世界アマチュア囲碁県大会最年少優勝、8月将棋部全国高総文祭団体2位、個人優勝、8月テニス部少年男子東北2位、国体へ…。全国的に見ても小人数の中学・高校であるのに、正に少数精鋭である。優れた者、優れた指導者を核にして、それを真似、互いに切磋琢磨して勝利し、その勝利の喜びがさらなる努力を喚起する、という良い循環ができているのであろう。高いモチベーションを持続させ不屈の精神を養うには積み上げた勝利の体験に優るものは無い。どうやら母校には新たな「石桜精神」が宿りつつあるようである。(中野廣一 記)